

復興News^{ニュース} 陸前高田

＜第28号＞
平成27年12月発行
陸前高田市復興対策局

田谷団地区画図



ニュース②

第2回「高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会」のお知らせ
《先着順に傍聴希望者を受け付けます》

岩手県では、高田松原津波復興祈念公園において、国及び陸前高田市と連携しながら、整備を予定している震災津波伝承施設（仮称）について、「高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会」を設置し、検討を行っています。

このたび、第2回委員会を下記のとおり開催しますので、傍聴を希望される方は当日会場までお越しください。

- 開催日時：平成27年12月15日（火） 午前10時～正午
- 開催場所：陸前高田市コミュニティホール大会議室（☎54-5520）
- 委員：

区分	氏名	役職
委員長	南 正 昭	岩手大学地域防災研究センター長・工学部教授
副委員長	柴山 明 寛	東北大学災害科学国際研究所准教授
委員	小笠原 裕	株式会社岩手日報社常勤監査役
委員	山口 壽 道	公益財団法人山の暮らし再生機構理事長 (元公益財団法人中越防災安全推進機構事務局長)
委員	熊谷 順 子	株式会社復建技術コンサルタント事業企画本部理事 (元国土交通省東北地方整備局企画部防災課長)
委員	赤 沼 英 男	岩手県立博物館首席専門学芸員
アドバイザー	本 多 文 人	陸前高田市立博物館長

- 議 題：(1) 県内各市町村の伝承施設等との役割分担・連携について
(2) 展示の方向性について
(3) 震災津波伝承施設展示基本計画（粗案）について
- 傍聴定員：20名（9時30分から先着順に受付を開始し、満席になり次第終了します。）

問い合わせ先 岩手県復興局まちづくり再生課 ☎019-629-6935(直通)

ニュース① 防災集団移転促進事業田谷団地の2区画を追加募集します

《申込締切は平成28年1月8日（金）まで》

市では、防災集団移転促進事業田谷住宅団地内に空き区画が生じたことから、新たに移転希望者を募集します。

防災集団移転促進事業の概要

防災集団移転促進事業は、東日本大震災時（平成23年3月11日）に陸前高田市内において被害を受けた世帯の集団移転を促進するため、安全な場所に住宅再建ができるよう支援する制度です。
市が移転先となる住宅団地を整備し、住宅敷地を被災者に譲渡又は賃貸します。なお、移転される方は被災した移転元地に居住できなくなります。

募集する区画の概要

団地名：田谷団地
区画数：2区画
団地所在地：広田町字天王前、羽根穴
この2区画は売買・賃貸ともに可能です。

区画No.	No.1	No.2
面 積	329.99㎡	329.99㎡
土地売買価格	2,432,026円	2,458,425円
年間貸付料※	36,480円	36,876円

※貸付料について

契約した日から最低10年間の賃貸料（年額）は土地売買価格の1.5%となります。当該期間が経過した日より、契約日から30年を経過する日までは土地売買価格の3%に近傍固定資産税評価額の変動率を乗じた額となります。また、契約日から31年目以降は近傍固定資産税評価額に0.7を乗じたものの5%となります。（区画図は3ページに掲載しています。）

申込について

1. 申込資格

- 次の条件をすべて満たす必要があります。
- 市が設定した広田地区移転促進区域内に、東日本大震災発生時に居住し、り災証明書の交付を受けている世帯。
- ※ただし、次に掲げる世帯は申込できません。
- すでに他団地において防災集団移転促進事業に参加している世帯。
 - がけ地近接等危険住宅移転事業の補助制度を活用して住宅再建をしている世帯。

2. 申込方法

復興対策局事業推進室に備え付けている申込書に必要事項を明記の上、復興対策局事業推進室に直接提出して下さい。

3. 申込期間 平成28年1月8日（金）まで

4. 区画決定方法

申込期間内の申込が1世帯のみであった場合は、その世帯で決定します。また、申込期間内に申込みが複数あった場合は、抽選により決定します。

問い合わせ先

復興対策局事業推進室事業推進係（内線435・436）



一陸前高田市復興の軌跡一

高田町高台②(第一中学校北側)
平成27年11月より順次宅地を引き渡し



下和野災害公営住宅から見たかさ上げ地



脇の沢団地
平成27年10月完成



高田東中学校
平成28年度完成予定



中田地区災害公営住宅
平成27年11月より入居開始



造成が進む広田診療所、消防屯所及び
広田地区コミュニティセンター建設予定地



柄ヶ沢災害公営住宅
平成28年度完成予定
市内で最も多い301戸の建設を予定



警察署幹部交番
平成27年度完成予定



コミュニティホール
平成27年5月利用開始



ベルトコンベヤー
平成27年9月15日に運転を終了
平成26年3月から稼働し約1年半で約500万立方メートルの土砂を搬出

